

要請番号 (JL51516B01)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ケニア	C301 林業・森林保全		個別	交替 3代目	2年	・ 2017/2 ・ 2017/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

環境・水・天然資源省

2) 配属機関名 (日本語)

ケニア森林公社(KFS)ニヤンダルア

3) 任地 (ニヤンダルア・カウンティ、オルカラウ) JICA事務所の所在地 (ナイロビ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 3.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

ケニア森林公社(KFS)は森林保全活動を主な業務とする政府系機関である。違法伐採の取り締まり、苗木の生産及び販売、住民による植林活動の推進、育林技術指導などに取り組んでいる。ケニア国内に500近くのアフィスが点在している。JICAとは技術協力プロジェクト「半乾燥地社会林業強化」(2004年3月～2009年3月)を実施するなど、長い協力実績がある。任地となるオルカラウは標高2,000mを超える高地にある。青年海外協力隊は2013年11月から継続的に派遣されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

KFSニヤンダルアが役割を担っているのは、主に①農業、農村と都市の開発分野、②環境保護、水・天然資源分野の2つに分けられる。特に、森林保護のためレンジャー達は毎日昼夜の見回りを行なうほか、乾季には火災が発生するため消防訓練を実施したり、緑化促進のため苗木栽培や木材販売を行ったりしている。現在派遣中のJV(平成27年度2次隊/林業・森林保全)が主に取り組んでいるのは、GIS(地理情報システム)によるデジタルマップ作成とGIS技術者の人材開発の支援である。配属先では5つのフォレスト・ステーションを管轄しているが、当該JVの活動期間中に、2つのフォレスト・ステーションのデジタルマップ作成を完了できる見込みである。FSC(R)(Forest Stewardship Council(R)、森林管理協議会)の森林認証の獲得も視野に入れつつ、継続的な支援が求められた。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

現在派遣中のJVが取り組んでいる以下の活動内容を引き継ぎつつ、配属先同僚と協働する。メインの活動として想定されるのは、1.である。

1. GIS(地理情報システム)によるデジタルマップ作成とGIS技術者の人材開発を支援する(主に乾季)
2. 建設済みのビニールハウスを利用した野菜栽培、グループ活動の活性化を支援する(主に雨季)

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

メインオフィスではコピー機、プリンターといった基本的なオフィス機能を備えている。派遣中JVにはホール隣の小部屋が執務室として提供されている。GPSの購入を検討中。

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先はエコシステム保護管理官(50代女性)を筆頭として、エコシステム・マネージャー(2名)、秘書(3名)、事務所アシ

スタント(6名)、運転手(1名)などからなる。活動対象者はエコシステム・マネージャーを中心に、配属先が管轄するフォレスト・ステーションのスタッフなど広範に及ぶ。

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
英語	英語	

【資格条件等】

[免許]：（ ） [学歴]：（大卒）林学 備考：同僚と同じレベル
[性別]：（ ） 備考： [経験]：（ ） 備考：
[参考情報]：
・GISに関する知識

任地での乗物利用の必要性
単車(小型自動二輪免許が必要)

【地域概況】

[気候]：（温帯気候） 気温：（10～30℃位） [電気]：（不安定）
[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（不安定）

【特記事項】

住居は配属先敷地内のスタッフ用住居となる。